

晩秋の立山・剣岳へ行く

秋山情報 7号 10/27

連日よい天気が続くので、立山が、一面の銀世界になる前の(おそらく、これが今年最後になるであろう)、立山・剣岳の晩秋の姿を撮りに剣御前岳・別山・立山三山へ行った。

室堂へのバスは、相変わらず満員御礼。・・・いつもと違うのは、弘法へ行く人が多いこと。

明日の「下の廊下」のための宿泊の荷物、立山は-3,4 のための防寒具と、ちょっと荷物が多いせいか、今日は、いつものコースなのに、ややばてました。

今日日程

立山駅 8:40 - 美女平 9:00 - 室堂 10:00 - 雷鳥沢 10:30 - 別山乗越 11:30 -

剣御前岳 11:40 - 別山 12:30 - 真砂岳 13:30 - 雄山 15:00 - 一の越 15:30 -

東一の越 16:00 - 黒部平 17:00 - 「ロジックろよん」 17:20

今日の出合

こんなによい天気なのに、雷鳥沢からは誰にも出会う人がいない、と思ったら・・・自分の出発が遅いだけであった。稜線へ登ると何人かの人と出会った。剣御前の小屋は、今日の宿泊者を最後に、小屋を閉めるらしい。



登山者にとっては、立山はシーズンは終わったようだが、観光客にとっては、まだまだこれからというところだ。
観光客は多少天候が悪くても、あまり影響がないか。・・・室堂近辺は、大賑わい・・・なるほど今日は絶好の天気。
みくりが池も最高だ。



雷鳥荘付近での、ナチュラルリストの説明を聞く観光客。本当にたくさんの方が散歩しています。
「血の池」より立山を望む。今朝は-3,4 氷が張っている。・・・



一步、雷鳥沢まで行くとご覧のとおり、テントは一つもない。意外と、この季節の立山は、知られていないのかも知れない。もっとも、この頃は、例年は雪が降っているときもある。山行への判断には、大変迷うところだ。



出発は、10時にもかかわらず、雲ひとつなく、視界は最高。常に、いつも見慣れた奥大日岳が、出迎えてくれる。

雷鳥沢では、すっかり衣替えした「雷鳥」がご挨拶。人なれしていない様子は、雛鳥が成長して、一人旅したところか??? 足の真っ白い毛が印象的だった。



別山の稜線から、急激にデジカメのファインダーに収まりきれなくなる立山のスナップ。やや逆光なので、かぶり気味だが、だんだん迫力を増してくる。



平年、頂上付近の硯が池では、残雪のスプーンカットと一緒に「立山三山」を撮影するとよいのであるが、この季節はもう水がない。・・・やや下の方に池があるので、挑戦してみた。右の写真は、ますます近くなる「真砂岳より立山」



大汝山より雄山。さらに近づくと、雄山神社が大きく見えるようになってきた。



雄山神社の頂上の社。右は、いつもは拝観料が必要だが、今はフリーの頂上からの雄山神社社務所及び休憩所。



頂上の社より望む剣岳。右の写真は、同じく槍・穂高連峰、黒部源流の山々。



一の越から東一の越へ・・・この時期の日暮れはなんと早いことか。ちょうど、日本海側へ日が落ちるので、日暮れは、想像したよりはるかに早かった。東一の越をたどり着くと、もう後ろ立山連峰は、夕日である。黒部平から黒部湖までは、懐中電灯が必要であつた。



「晩秋の剣岳」・・・剣御前岳より・別山の稜線より・別山北尾根より・別山頂上より
厳しい冬の前の、ほんの一時の優しい秋の色合いだ・・・もうしばらくは、こんな顔を見ることはないだろ
う。

・・・室堂でも、今朝は-3,4 の世界、晴れているとはいえども、この稜線は、冬の防寒具が必要だ。
10/28の今日は、富山でも木枯らしの様子を見せている。・・・おそらく立山は雪であろう。
今度行くときは、冬山情報になるに違いない。

